

恋する川柳物語かわら版



其の二十九

第二十八回「恋する川柳」—【秋】は梨（話）

ふくらむ川柳編一の応募作品集です。恋する気持ちを詠む

川柳「恋する川柳」秋編のお題は「梨（なし）」、『梨（なし）』

という言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

今年も残すところあと一ヶ月となりましたが、みなさん今

年も何かとお世話になりました。年の瀬の

ご挨拶：いやいや、ちと早いのでは：そんなお声が聞こえて

きそうではありますが、担当者の中では「今年はもう終わつ

た感」しか残っていなかつたりするんです。

なんせこの十一月は、オープン初年度以降、経験したこと

のないようなあまりに目まぐるしい毎日を送っていましたの

で、その大仕事が終わりを迎えるとしている今、まさに「あ

まちゃんロス症候群」ならぬ「秋ロス症候群」にでもなりそ

うな勢いです（苦笑）。

心温まる秋を過ごされた方もいらっしゃれば、傷心に既に

凍えそうな秋を過ごされた方もいらっしゃるかもしれません。

ですが、みんなに今年よりもひとつでも多く笑顔になれる新

年が訪れる事を心から願いつつ、「ゆく年くる年」を迎えた

いと思います。

【応募作品一覧】

◆ ベルが鳴る 見つめ合いたる 梨籠と

◆ 鳥取の 梨に恋して 半世紀 妻・母・そして いま祖

母あの娘（兵庫県）

◆ 恋同志 出荷手拍子 梨トラック

◆ 恋文の スランプ越えた 音信なし（鳥取県）

◆ 赤とんぼ 千匹乱舞 梨畠（岡山市）

◆ ふと母の ほほえみ想う 梨の花（岡山市）

◆ 一つ梨 かぶりあいする 深い仲（京都府）

◆ 産地でも 梨を豊富に 食べきれず（鳥取市）

◆ 梨をむく 祖母のしぐさの 愛らしさ

◆ 梨愛でる 祖母の笑顔が 花になる（P・N仁）

◆ 梨をむく 女に 恋をした（倉敷市）

◆ くるくると 梨むく女に 恋をした（倉敷市）

◆ 秋の夜は あなたを思い 前向きだ

◆ 落ち葉並 私の恋も 散りました（八頭郡）

◆ 悲しみを 溶かすあなたの ピアス二個

◆ 異常なし 癌のカメラが 好きになる（丹波市）

◆ 話したくなり 53号線 走る（P・Nしんいち）

◆ 孫かわゆ なけなしの年金 今日も送ったよ

◆ 鳥取の ハワイ（羽合）の梨も おいしいよ

（P・Nこうちゃん）

◆ 声なしの 電話こちらも だんまりに

◆ クエン酸など 多いと知った 梨を買う（伊丹市）

◆ 懲りもせず まだ続ける あのハナシ（P・N小星）



◆ この梨は 口酸っぱいな おもてなし

（P・N暮色の天使）

◆ 遷宮の 出雲路ゆきて 梨たわわ

◆ 想い出は あのひとのこと 梨便り（P・N茶々丸）

◆ 君なしじや コンビニ弁当 さらに不味

◆ 抱き寄せて 君のほほも 紅葉し（P・Nベーちゃん）

◆ あの方の 綺麗な話し 涼む声（P・Nヨツキ）

◆ 悲しみを 笑顔に変える 猫じやらし

◆ もみじ手に 余る大梨 かぶりつき (P・N矢車草)

◆ 今風が 昔話に なっている (P・Nかぐや姫)

◆ 子を為して ファミリーという 一単位

◆ 梨食いて 定年迎え 悔いは無し

◆ 梨をもぐ 触れる君の手 秋の風 (P・N悠々愛々)

◆ フナッシー 梨の妖精? 妖怪だ

(P・N竹子デラックス)

◆ 増税の 無し (梨)は甘いぞ 今が買い

◆ 御当地の 梨の甘さに 声もなし (P・N次男坊)

◆ 下らない 話が膨らむ 同窓会

◆ 稔る時期 果実膨らむ 秋来たる (P・N木の影)

◆ 大事業 成し遂げたのも 君の愛

◆ 梨畠 おめえ無しでは 生きられね (P・N臨海和笑)

◆ 忘れない 二人で食べた 梨の味

◆ 秋の夜 思い出すのは あなただけ (P・N花月)

◆ 彼氏なし いつか誰かと 恋したい

◆ 恋い焦がれ 話がはずむ 楽しいな (P・N花月)

◆ 想い出に チッチとサリーの 重い梨

(P・N小学校の時のアダ名がダンプ)

◆ 恋の道 はなし膨らむ 老後かな (P・Nよつは)

◆ あの彼の 脈があるなし 見極める (P・Nむこう)

◆ 僕の梨 誰が食べたの 倍返し (P・Nふつきー)

◆ 秋の恋 涙ほろりと こぼれ萩 (P・Nぶちの白馬)

◆ 「話って 何」と聞かれて 「君が好き」

(P・N7年の恋)

◆ 話したい 離したくない 君がいる (P・N7年の恋)

◆ 梨ひとつ 落したような 恋でした (P・N琴音翼)

◆ 梨剥きの 上手続き彼女に 憎れ直す

◆ 君の手を 離したくない 夕間暮れ

(P・N黄昏マジック)

◆ 君の目を 見て話したい プロポーズ

◆ 桔葉舞い 悲しい恋の 終わり告げ

(P・Nだじやれまん)

◆ 遠足で あの子のむいた 梨を食べ (P・N三蕃)

◆ そっと置く 梨を重しに ラブレター

◆ 共白髪 梨を重しに ラブレター (P・N春爺)

◆ そっと置く 梨を重しに ラブレター

◆ ラブラブの 話半分に 聞いておく (P・N氷川の杜)

◆ 古希迎え 恋の話が より遠く (P・Nのん)

(P・N散歩)

◆ 初デート 頬もリンゴも 朱に染まる (P・Nれんこ)

◆ 紡ぐ文 かわはら川柳 秋の路

◆ 虫の声 秋の夜長に 胸キュン (P・Nやまちゃん)

◆ 梨とどき 梨のつぶてに ならぬ梨

◆ コスモスに 遠き彼女の 笑み重ね (P・Nやまちゃん)

◆ ぺちゃくちやと 話尽きずに 恋を知り

◆ 柿の実に ギターふくらむ 恋日和

(P. Nすふいんくす)

◆ 梨噛める 齒なしで入れ歯 話好き (P. N康香)

◆ 河原の 梨を土産に プロポーズ (P. N銀河伝説)

◆ 秋の虫 恋恋恋の大合唱 (P. N白猫)

◆ こそこそと 内緒話に 热い耳 (P. Nさちみ)

◆ 返信が 梨のつぶての 彼を待つ (P. N音沙汰)

◆ 逃げ足の 早い女に 未練なし (P. N大和の雨蛙)

◆ 還暦の 頬染め友の 恋話 (P. Nゆうな)

◆ ふと出逢い 話は尽きぬ 道の駅 (P. Nあべっち)

◆ 梨狩りの デートの思い出 甘酸っぱく

◆ 初恋の 話をしたら 妻に角 (P. N一本木)

◆ 胸焦がし 出した恋文 返事なし

◆ 目に浮かぶ 梨が取り持つ あの話

◆ 君がいて アキ来ぬ恋は 夏のまま (P. Nおじやすか)

◆ 初恋の 話になると 赤くなる (P. N花咲き夢子)

◆ 梨狩りの 皮むくはやさに ひとめぼれ

◆ 袖なしの 肌が触れ合う 遊園地 (P. N源田 繁太郎)

◆ まだ青い 梨に似た恋 痛む胸

◆ 片思い 実りの秋と言うけれど (P. Nつーさん)

◆ 瑞々しい 君の素肌に 勝る無し (P. N悠斗)

◆ 桃栗の ように実れど 店通り (P. N悠斗)

◆ 秋がきて なしくずしに 妻肥える

◆ あたしなしの 人生なんて なしだよ (P. Nこうた)

◆ 秋風が 吹いても愛に 変化ナシ (P. Nうずまき君)

◆ 大振りの 梨を味わい 秋を知る (P. N琥珀)
◆ コスモスの 風に揺らぐ日 文書きで (P. N瑠理香)

◆ あなたとは 楽しさのみで 苦労なし

(P. Nけいちゃん)

◆ そですよ！ 日本の心 おもて梨 (P. Nもくず)

◆ 老いらぐの お茶のみ話 立ち消えに

◆ 逃げ足の 早い女に 未練なし (P. N大和の雨蛙)

◆ 恋をして 胸が膨らむ 梨二つ

(P. N働き蜂ちえちゃん)

◆ 初恋の 話になると 赤くなる (P. N花咲き夢子)

◆ 胸焦がし 出した恋文 返事なし

◆ 君がいて アキ来ぬ恋は 夏のまま (P. Nおじやすか)

◆ 目に浮かぶ 梨が取り持つ あの話

◆ 梨瓜を 食べて梨知る それ梨絵 (P. Nひねた猫)

◆ 梨畠 結んだ恋は 白い花 (P. Nべんさん)

◆ お目当ての 彼女 (ひと)と話した 同級会

(P. N夢追い人)

◆ 話だと 言つてこの思慕 吊るし柿 (P. Nまーちゃん)

◆ 話しても 話し足りない 帰り道 (P. Nななかまど)

◆ 梨むけば しづくしたたる 秋の恋 (P. N三谷 泉)

◆ 愛してる なしのつぶてで いいからね

◆ ものさしで 計れる話 恋じやない (P. Nあーさま)

◆ まだ彼とはなれなく 話盛る (P. N PON5)

◆よく使う 梨より林檎 恋の歌

(P・Nクンタ・キンテ・ジャパン)

◆心配は 一切梨と 彼の文(ふみ) (P・Nたかちゃん)

◆義理チヨコの お返し渡す むなしさよ

◆悲しいな 君が転校 してしまい (P・Nすんまそん)

◆付きあえて メール攻撃 返事無し (P・Nさわやん)

◆成し遂げる 嫁さんもらつて 一人前

◆むなしいね 福島置き去り 永田町 (P・N岩窟王)

◆めいっぱい 君を愛して 金木犀 (P・N木下美樹枝)

◆梨に力二 因幡の国の おもてなし

◆君のこと 好きと言えない 根なし草 (P・N播磨男)

◆恋メール 梨の礫に 手紙出す (P・N宗太郎)

◆洋(用) 梨よ いちいち言葉 引っ掛かる

◆洋(用) 梨よ いちいち言葉 引っ掛かる

◆秋深い 食べ頃手頃 なし食感 (P・Nせんちゃん)

◆初恋なし 認めたくない かなしい気持ち

(P・N百合紅葉)

◆初恋は 私も梨も 傷つけた

◆秋梨や はじけわたしは 恋をした (P・Nみきりん)

◆梨はんで 甘さ倍増 くちずけよ

◆梨の皮 薄くむいて 熱い恋 (P・N大井一水)

◆人でなし 罵声を浴びる 優男

◆胸張って 日本が誇る おもてなし (P・N颯爽)

◆彼の名は 梨と同じで 長十郎 (P・Nすみれ)

◆意気地なし 手も握れずに 草食化 (P・Nあや)

◆寄り道で 昔ばなしに 君想う (P・Nめいパパ)

(P・Nカヤラ亭)

◆空いね 毛無しの俺は 根無し草 (P・N策々)

◆愛燐燐 妻と頬張る 梨の味

◆言い出せぬ 優の片恋 秋巡る (P・N浜千鳥)

◆梨畠 ペラーで食べた 砂ベンチ

◆喧嘩して 仲直りする 梨の園 (P・Nもにかとなら)

◆梨をもぐ 彼女の背中に 好きと描き

◆梨狩りを 楽しむ二人 恋芽生え (P・Nヒデじい)

◆ありの実と 呼ばれて梨も 照れている

◆残り香に そそられまたも 梨を剥く (P・N和朗)

◆お・も・て・梨 素敵な出逢い 予感する

◆洋(用) 梨よ いちいち言葉 引っ掛かる

(P・N内須みどる)

◆この秋も 北から梨が やって来た (P・N雪子)

◆会えるかな 今年山梨 国文祭 (P・Nよかよ)

◆恋路には 神世浮世も 地図はなし

◆褪せぬ間に 恋せよ娘 時はなし (P・Nきりぎりす)

◆おもてなし 成るか今年の 流行語

◆梨を 指の白さに 惚れ直し (P・Nかたおもい)

◆ばあちゃんの ハナシ朝から 三回目

◆恋叶い 目無しすぎるまの 目を入れる

(P・Nポンタロウ)

◆Autumn in New Yorkの恋 思い出す

(P・N清詩薰)

◆ けいたいに はなしかけては きみおもい

(P・Nきゅばらの風)

◆ 話する だけで心は 燃えている

◆ 紅葉より 染まるあなたの 頬が好き (P・Nみぢんこ)

◆ 梨が好き 言う人が好き 梨も好き (P・N花キヤベツ)

◆ 甘酸っぱい 二十世紀の 恋話

◆ みずみずしい 梨のつぶての 恋模様 (P・N東葉)

◆ 梨のような さっぱりとした お人柄

◆ 梨食べる その花盛り 眼に浮かべ (P・N清少納言)

◆ 梨のような さっぱりとした お人柄

◆ 結婚は したいけれども 相手なし (P・Nクジラ)

◆ 道の駅 梨が美味しいと 孫が言う

◆ この恋に 失うものは ナッシング (P・N船岡五郎)

◆ 君が好き その一念に 迷いなし

◆ 1日中 なしのつぶては 悲しそぎ (P・Nお酢)

◆ あの話 なかつたことにと また失恋

◆ 告白は 秋風そよぐ 梨花の下 (P・N雀の涙)

◆ 吾が頬を 紅葉に染めし 2分前

◆ 「めでたし」の 昔話は 信じない (P・Nあいらむ)

◆ 梨狩りで 何処に行こうか 二人して

◆ 分け合える 大きな梨を 彼と採る (P・Nかきくけ子)

◆ 梨送る 「あなたなしでは . . .」 添え書きし

(P・N習作)

◆ タ焼けに あの娘と食べた 柿と梨 (P・N小林番茶)

◆ はら抱え これだけ話 公民館 (P・N王子)

◆ 梨見れば 腹が鳴る鳴る おい鬼太郎

(P・Nみつかいかさ)

◆ 婚活で これあり・これなし 品定め (P・N名寄のやす)

◆ 他愛ない 話しがいつも 温かい

◆ わりと好き うんちく話 してる彼 (P・N真昼)

◆ ファッショングで 洋梨体型 かくす秋

◆ ラブメール 梨の礫に ならないで (P・Nコヽロ)

◆ 惣れたのは 心なし君の その笑窪 (P・N篠崎しの)

◆ 太いへた 二十世紀梨 実がつまる (P・N曲者)

◆ 回し読み 終章に来て 話し咲く

(P・Nチュン子すずめ)

◆ 婚活に 胸膨らませ 秋の空 (P・N長男ヒロタン)

◆ 恋をして わたしの心に お・も・て・な・し

◆ 遠い日の 恋に胸キュン 焦がす秋 (P・N青メダカ)

◆ 恋に落ち キスも出来ない いくじなし

(P・N空 美鷹)

◆ 恋に落ち キスも出来ない いくじなし

◆ 焼きイモで 七臭 (ななくさ) つくる 妻の前

◆ 愛妻の 増えた皺見て 柿を干す (P・N田中つん)

◆ 梨をもぐ てつきに惚れて 園の妻 (P・Nまる)



saori

◆ ふる里便 地産地消で 偽装なし

◆ 食欲の 秋にメタボの 二人連れ

(P・N京のみっちゃん)



◆ コスモスが 車窓に流れ 恋終わる (P・N山ブドウ)

◆ 恨みっこ ナシでおしまい このハナシ

◆ あなたから 真心込めた おもてなし

◆ 一目惚れ すると心は ふなっしー

(P・N紫梨)

◆ 縁結び 出雲の神から 返事なし (P・N仁)

(P・N薬寺村池丸)

◆ 曼珠沙華 咲いてたれかを 呼び寄せる

(P・N仁)

◆ その嘘が 美しすぎて 梨に問う (P・N仁)

(P・N仁)

◆ 恋みくじ 大吉ひいて 縁はなし

(P・Nどれびの)

◆ 片思い 賞味期限の 表記なし (P・N空太郎)

(P・N空太郎)

◆ おもてなし 偽装表示の ろくでなし (P・N結花)

(P・N結花)

◆ 鍋囲み むかし話で 夜は更けて (P・N三柳)

(P・N三柳)

◆ 割り切れぬ 話割り切る 夫婦算

(P・N三柳)

◆ きょうもまた つつがなしやと 夫婦風呂 (P・N三柳)

(P・N三柳)

◆ ハイアーン する人もなく 梨かじる

(P・N三柳)

◆ 梨をむく 妻の可憐さ 惚れました

(P・Nおでんケーキ)

◆ 実る秋 恋も実れと 初メール (P・Nあかね雲)

(P・Nあかね雲)

◆ 約束を 編んで解いて 秋行く (P・Nマル)

(P・Nマル)

◆ 告白を 無しで片づけ もう一度 (P・Nマル)

(P・Nマル)

◆ ペア(梨) ルック 着てもいまだに チューもなし (梨)

(P・Nピんけろ)

◆ カラオケで おはこと言うが サビはなし

(P・Nかすみそ)

◆ メールなし わざと彼氏を じらして (P・Nひみこ)

(P・Nひみこ)

◆ 息合わせ 孫と連弾 スキはなし (P・Nかすみそ)

(P・Nかすみそ)

◆ 花は色 人は心で 恋をする

(P・N翔)

◆ 花は色 人は心で 恋をする

(P・N翔)

【番外編】

◆ 吹雪くるも 肩寄せ合うて 二人愛 (京都府)

(京都府)

◆ 寒いねと 赤いホツペの 君が好き (倉敷市)

(倉敷市)

◆ 若き師に こころときめき 老いの恋 (P・Nきりこ)

(P・Nきりこ)

◆ 甘酸っぱい タイムカプセル 前世紀

(P・N甘酸)

◆ 金婚式 プロポーズしたのは 20世紀

(P・N金婚式)

◆ 筆持てば キミが弾ける 画布の中 (P・N銀次郎)

(P・N銀次郎)

◆ 知りたいよ 気持ち抑える 方法を (P・Nピノコ)

(P・Nピノコ)

◆ 目が合って そのままフリーズ 消えるまで

(P・N角)

◆ 砂の丘 恋もズックも 飲んで行く (P・Nよこれんぼ)

(P・Nよこれんぼ)

◆ しがらみの 向こうに遠く 恋が見え（P・Nいと哀し）

◆ 夢の恋 燃えてひらくや インバネス

（P・N三谷 白水）

◆ 定年で 妻に教わる コンバイン

（P・Nりょうたちやん）

『一言』きっとこんなお父ちゃんも多いんでしようね。

◆ バカッブル 僕はならない！ ダメでした（P・Nバル）

『一言』「決めて」いるんですからね、潔くて格好良い！

◆ ときめいた 優の歌中の 仲の人

（P・Nりょうたちやん）

◆ 初恋で 生涯閉じる 虫の声（P・Nしめじ飯）

『一言』こんな「アポなし」なら大歓迎です♪♪♪

◆ 歴女見る 立派な城に 神社・寺（P・N三つ柏）

『一言』おかえりと 手をふるあなた ありがとう

（P・Nお人よしきん）

◆ 寂しさを 忘れる人に めぐりあう

（P・Nきんもくせい）

◆ 弁当に 迷い込んだか ウサギ梨

（P・N竹子デラックス）

◆ 婚活を 楽しんでいる 秋夜長（P・Nぶちの白馬）

◆ 紅葉より ずっと真っ赤な 恋の色（P・Nあべっち）

◆ 梨剥いて 孫の下校を 待つ炬燵（P・Nしめじ飯）

【特別賞】

◆ じゃあまたと 話し足りずに 電車去る

（P・N姫ちゃん）

『一言』一時間に一本の汽車通では考えられません（涙）。

◆ 落ち葉踏む 今年は 二人分の音（P・N鼓吟）

『一言』「幸せの足音」か：私にも聞こえてこないかな？

◆ ダイエット 秋の味覚が 倍返し（P・N高瀬舟）

『一言』こんな「倍返し」はいらないなあ（笑）。

◆ 仕事をこなし 恋愛こなす 素敵女子（P・N百合紅葉）

『一言』胸を張って言えるよう頑張らなくっちゃ！

◆ 秋祭り 恋を見守る 鎮守様（P・Nすみれ）

『一言』どんな縁結びの神様よりもやっぱり氏神様です。

◆ 伝説のはなしが僕の 背中押す（P・Nめいぱぱ）

『一言』心優しい大国主命を見習えばきっと大丈夫。

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター

☆)

地域と地域、人と人との縁を広く結んでいく「地域の学び舎 水辺の学縁」プロジェクトが遂に始動しました☆9月の「野菜ソムリエと収穫から行う田舎の料理学校」では、梨づくしの料理を学び、10月には道の駅では初の取り組みとなる「ノルディック・ウォーク体験会」を開催しました。7km程の道のりをパワースポット巡りを楽しみながら完歩しました。そしてプロジェクトに華を添えてくれるマスコットキャラクターの決定も、もうすぐです。

本当に実り多き一年を過ごせられたことを、関係者の皆さまそして応援して下さっている皆さまに、深く感謝いたします◎

柳」編は十二月に募集しますので、お見逃しなく☆

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせていただいております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム（P・N）の付してないものについては、宛先のみご紹介させていただいています。

また、抽選の結果発表については、発送をもつて代えさせて頂きます。次回の【秋】「は梨（話）ふくらむ川

※以上十名様には、秀句として梨染めコーススターをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の五名の方の作品も、プチ特別賞としまして、恋うさぎストラップをお届けします。

◆ 一T（アイティー）の 機器で親の 威厳無し

（P・N橋 舞衣）

◆ 弁当に 迷い込んだか ウサギ梨

（P・N竹子デラックス）

◆ 婚活を 楽しんでいる 秋夜長（P・Nぶちの白馬）

◆ 紅葉より ずっと真っ赤な 恋の色（P・Nあべっち）

◆ 梨剥いて 孫の下校を 待つ炬燵（P・Nしめじ飯）

